

A-14

みず す 水を吸うつぶつぶで

ほうこうざい 芳香剤をつくろう！

みなさんは吸水性ポリマーって知ってますか？身近なものだと紙オムツや保冷剤、

芳香剤なんかに使われています。吸水性ポリマーとは水を吸収して蓄えることがで

きるもので、水を含むと大きく膨らみます。今回はその様子を観察しながら、一緒に

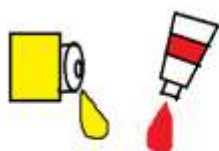
芳香剤を作ってみましょう！

じゅんび 《準備するもの》

- ・ 吸水性ポリマー ・ 水 ・ アロマオイル ・ 水彩絵の具 ・ 入れ物 ・ 定規

かた 《やり方》

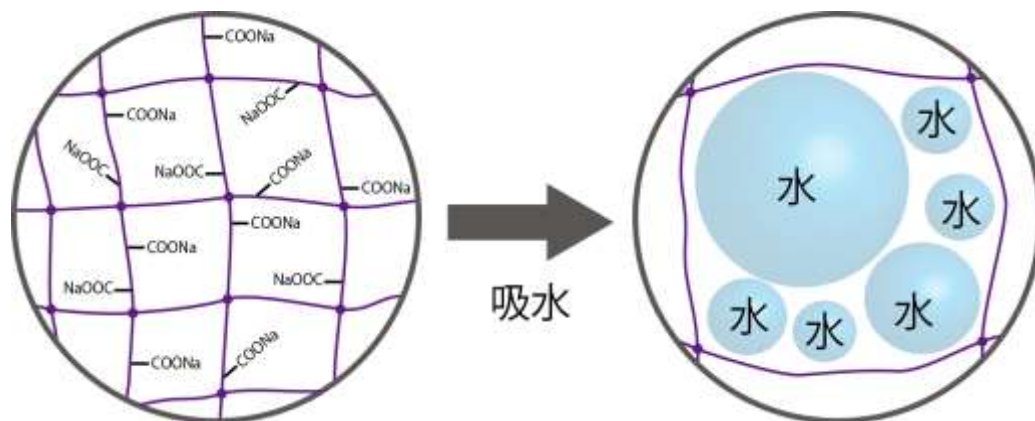
- ① 吸水性ポリマー小さじ半分、水50cc、水彩絵の具、アロマオイルを入れ物に入れる。
- ② 5分おきに吸水性ポリマーがどのくらい大きくなったかを定規で測る。
- ③ 30分経って吸水性ポリマーが大きく膨らんだら完成！！



《ちょっとだけ詳しい説明》

- なぜ吸水性ポリマーは水を含むの？

吸水性ポリマーは立体的な網目構造をとっています。乾燥しているときはそのすき間が狭いですが、水を加えると水分子が入り込んで広がります。だから体積が増えて膨らむのです。また、水とつながりやすい性質があるため、吸収した水を蓄えたままにしておくことができます。



- なぜ吸水性ポリマーを使って芳香剤がつけられるの？

水を含ませた吸水性ポリマーにアロマオイルを混ぜると、その水にアロマオイルがわずかに溶けます。この水がとてもゆっくりと蒸発するので、アロマオイルのいい香りを長い間楽しむことができます。